

3-2. レーシングコース4輪

1). 4F【フォーミュラカークラス】

レース専用設計されたオープンホイールの4輪自動車(S-FJ、F4、Formula Enjoy などフォーミュラカー)が走行できます。

※スーパーセブンのレース仕様車、VITA・v.Granzなどは4Tクラスでのご走行となります。

※GC21、プロトタイプカーなどツーリングカーに比べ速度が著しく速いとモビリティリゾートもてぎが判断した場合、4Fクラスにてご走行いただきます。

■車両規定

●ゼッケン

リアウイングもしくはコクピットの左右各1箇所とフロントカウル上面1箇所の計3箇所に貼り付けてください。

※できるだけ視認しやすい位置に貼り付けてください。

※ゼッケンは各自で購入・作成したものをご使用ください。

※ゼッケン番号・書体は自由ですが視認性が低いものは認められません。

ゼッケンを貼る下地と対称色となるようご準備ください。

黒地に白文字、白地に黒文字など。

淡色(白・黄など)の下地であれば黒文字、濃色(赤・青など)の下地であれば白文字を基本とします。

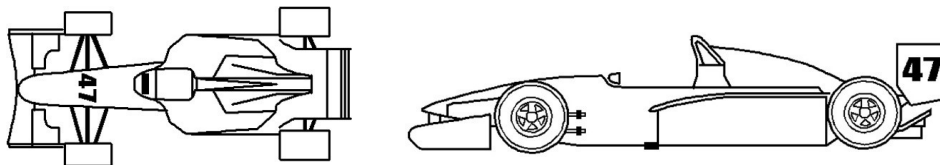
※数字に見えないものはゼッケンと認められません。

●その他の装備・規格類について

原則、JAF 国内競技規則に準じます。各カテゴリー別の JAF 国内競技規則をご参照ください。

旧式の車両は現代の安全性に相当する車両装備で走行ください。

係員が安全でないと判断した車両はコースインできません。



2). 4T【ツーリングカークラス】

市販車をベースに、レース用に改造されたレース専用車両(ナンバープレートなし)のみが走行することができます(GT / VITA / v.Granz、その他競技仕様のワンメイク車両など)

※スーパーセブンのレース仕様車、VITA・v.Granzなどは4Tクラスでのご走行です。

※1BOX・ミニバン・RV・SUV タイプの車両や軽自動車は走行いただけません。

※一般的にサーキット走行に向いていない車両での走行を予定されているお客様は、事前に MCoM 事務局までお問い合わせください。

■車両規定

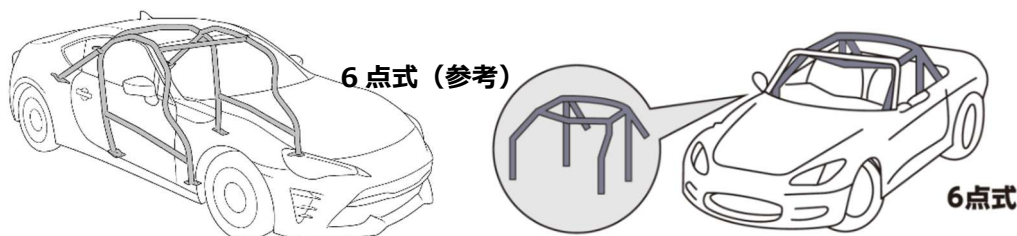
●シート・シートベルト

①4点式以上のシートベルトが必須です。 ※安全のため5点式以上のシートベルトを推奨

②サーキット走行に適したシート(バケットシート)が必須

●ロールケージ

4点式以上のロールケージ取付が必須です。 ※オープンボディの車両は6点式以上が必要です



●ゼッケン

車両の左右側面とボンネットおよびリア部分の4箇所に貼り付けてください。

※できるだけ視認しやすい位置に貼り付けてください。

※ゼッケンは各自で購入・作成したものをご使用ください。

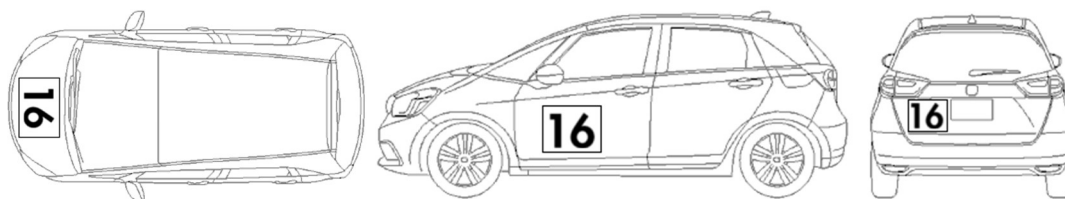
※ゼッケン番号・書体は自由ですが視認性が低いものは認められません。

ゼッケンを貼る下地と対称色となるようご準備ください。

黒地に白文字、白地に黒文字など。

淡色(白・黄など)の下地であれば黒文字、濃色(赤・青など)の下地であれば白文字を基本とします。

※数字に見えないものはゼッケンと認められません。



●牽引フック

競技用牽引フックを前後2箇所に取り付けください。 ※車両純正フックは使用不可とします。

●消火器

車載用の消火器をご準備いただき、搭載ください。

取り付けを推奨する装備

- ①キルスイッチ
- ②ボンネットピン
- ③ウインドウネット ※運転席側の窓ガラスを開けて走る場合は取付必須となります。

必ず取り外さなければならない装備

- ①ナンバープレート
 - ②検査標章(ステッカー)・点検整備済ステッカー
- 前後のナンバープレート・検査標章・点検整備済みステッカーの付いた車両はご走行できません。

2). 4CC(チャレンジクラブ)【登録車クラス】

日本の車検(自動車検査登録制度)の保安基準に適合し、有効な自動車検査証、検査標章が交付されているナンバープレート付きの車両のみが走行できます。

※1BOX・ミニバン・RV・SUV タイプの車両や軽自動車は走行いただけません。

※走行日に車検有効期限が切れている場合は走行できません。

※仮ナンバーおよびナンバーなし車両での自走来場によるスポーツ走行は出来ません。

※公道車検が行われるレースでのナンバー付き車両については4CC クラスでの走行となります。

(例: Yaris Cup、86/BRZ、Joy 耐チャレンジなど)

■車両規定

●シート・シートベルト

3点式以上のシートベルトが必須です。 ※安全のため4点式以上のシートベルトを推奨

●灯火類

ヘッドライト・ブレーキランプ・ウィンカーが正常に作動する状態であること。

●ゼッケン

車両の左右側面の計2箇所に貼り付けてください。

※できるだけ視認しやすい位置に貼り付けてください。

※ゼッケンは各自で購入・作成したものをご使用ください。

※ゼッケン番号・書体は自由ですが視認性が低いものは認められません。

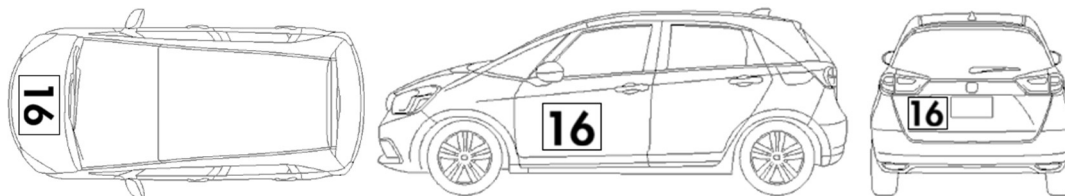
ゼッケンを貼る下地と対称色となるようご準備ください。

黒地に白文字、白地に黒文字など。

淡色(白・黄など)の下地であれば黒文字、濃色(赤・青など)の下地であれば白文字を基本とします。

※数字に見えないものはゼッケンと認められません。

※ゼッケン貼付例



●タイヤ・ホイール

①一般公道の走行が認められており、スリップサインが出ていないものを使用してください。

※スリックタイヤの使用は禁止です。

②バランス用のウェイトはアルミテープ等で固定してください。

●牽引フック

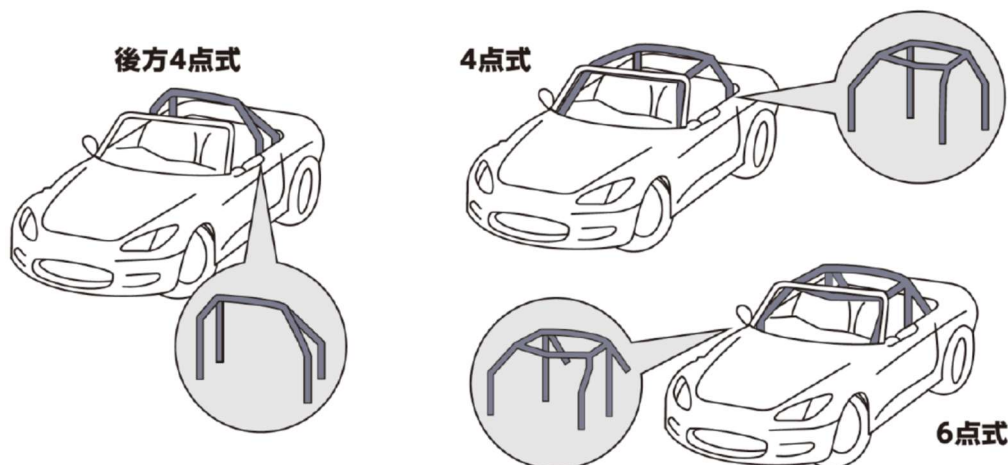
牽引フックを取り付けて走行してください。(車載されている純正フックでも可)

※JAF 規定に準ずる競技用牽引フックの取り付けを推奨します。

●ロールケージ・・・（オープンボディ車両対象）

オープンボディ車両は4点式以上のロールケージ・ロールバーの装着が必須となります。（後方4点式も可）

※オープンボディとは屋根の一部、または全てが外れる・収納できる車両のことをいう。



※ハードトップのみの車両はロールケージ・ロールバーの装着が必須です。

※タルガトップやTバールーフなど、ルーフを取り外したあとに骨組みが残る車両については、ロールケージ・ロールバーの装着は推奨装備とします。

※補足：純正電動ハードトップの車両については屋根を閉めた状態であればクローズドボディの車両扱いとします。屋根を開けた状態で走行する場合は、オープンボディの車両扱いとなり、4点式以上のロールケージ・ロールバーが必須装備となります。

必ず取り外さなければならない装備

●ホイールキャップ

後付けのホイールキャップ（センターキャップ含む）は脱落防止のため、外してください。

ロールケージ・ロールバーについて

車両が衝突または横転した場合に、室内の大きな変形を防止するために構成されたパイプで、継ぎ手および取り付け部からなるフレーム構造です。

※ヘルメットが外に出ない構造としてください。

※ドライバーの体が当たるような部分は

必ず保護パットを取り付けてください。

詳しくは、JAF 国内競技車両規則を参照ください。

【例】

